



しなの町 議会だより

No. 150

平成 27 年 4 月 30 日号



黒姫童話館オープンに間に合わせるため、残雪 1 m 超の「童話の森ロード」を 2 台のロータリー除雪車が、3 時間かけて除雪しました。

第411回定例会

2月会議・3月会議

第16代議会後期構成	2ページ・14ページ
2月会議・3月会議概要	3～6ページ
議員・議案ごと賛否一覧表	3ページ・7ページ
一般質問（11名が町政を質す）	8～13ページ
ぎかい活動365日	15ページ
わたしの出番・一茶と俳句	16ページ

第411回定例会・4月会議

4月1日に招集された4月会議において、16代議会後期の再編成を行い、小林幸雄議長、荒井賢蔵副議長が選ばれました。また、常任・議会運営の各委員会の再編も行われました。(関連項目は14ページ)



議員には更なる努力を行政とは切磋琢磨しながらより福祉の向上を
議長 小林 幸雄

このたび第16代議会後期の議会構成が再編され、不肖、私が前期に引き続き議長に再任いたしました。

前期2年間の経験を生かし、議長としての職責を誠心誠意果たす決意であります。議会の使命は、一つには、行政の具体的政策を最終的に決定することであり、二つには議会が決定した行政の施策について、適正に公平に効率よく執行されているか監視することです。

そのためには十分な知識を持って、本会議や委員会での質疑を十分行い、住民全般の立場で、大局的な責任のある判断をすることが必要と考えます。

その上で議員個々には、より議員たる品位を高め、町全体の立場に立って、判断力、理解力、審査力の向上を求めるとともに、町長はじめ行政の皆さんとは、町のため住民の福祉向上のために、お互いに切磋琢磨しながら均衡のとれた関係を願うところです。

皆様のご協力とご理解をお願いいたしまして就任のご挨拶いたします。

第16代議会、折り返し！ 後期の議会構成決定

副議長

荒井 賢蔵

監査委員

湊 喜一

総務産業常任委員会

- 委員長 橋崎 一雄
- 副委員長 石川 広之
- 委員 北村 照明
- 委員 森山木の実
- 委員 永原 和男
- 委員 吉岡 輝明
- 委員 佐藤 武雄
- 委員 小林 幸雄

社会文教常任委員会

- 委員長 青柳 秀吉
- 副委員長 酒井 聡
- 委員 湊 喜一
- 委員 荒井 賢蔵
- 委員 佐藤 仙治
- 委員 宮川 俊雄

人事案件

2月会議より
監査委員の選任について
清水 岳美さん
(新・大井)

3月会議より
○教育委員会制度の改定により、教育長の任命に議会の同意が必要になりました。
教育委員会の教育長の任命について
竹内 康則さん
(新・柏原)

教育委員会の委員の任命について
後藤 美信さん
(新・柏原)

人事異動

○議会事務局人事異動
就任 (事務局局長)
海口 泰幸
(社会福祉協議会より)
退職 (事務局局長)
和田 敏

2月会議〜3月第2回会議概要

第411回定例会は、2月16日に2月会議、3月4日から23日までの会期で3月会議、そして3月30日には3月第2回会議が開催されました。

2月会議と3月第2回会議は、記録的豪雪であった今季の除雪に関する補正予算が中心に審議され、3月会議は新年度各会計予算を中心に審議が行われました。

また3月会議では、11名が一般質問を行いました。

補正予算

2月会議では、今季の除雪に関する補正予算(6号)が審議され除雪費増額補正2684万円を含む2653万円増の臨時補正を可決しました。

正予算(8号)も審議され、27年度予算から、小中学生の教材費補助、活力ある農村支援事業、広域観光促進事業が前倒しで実施されました。

3月第2回会議では、記録的豪雪による除雪費増額分に対し、国庫補助金があてられたことにより、組み替え補正を可決しました。

歳入 主なもの
○国庫支出金 4886万円の増
○繰入金 5000万円の増
ほか

歳出 主なもの
○総務費 2874万円の増
○商工費 2477万円の増
○土木費 4047万円の増
ほか

〜3月第2回会議より〜
一般会計補正 (第9号)
300万円の増

※今季の除雪事業に対して、国の補助が行われたことに
関する補正

歳入 主なもの
○国庫補助金 6800万円の増
○基金繰入金 6500万円の減
ほか

※補正後の合計予算
54億3634万円

27年度一般会計補正

一般会計補正 (第1号)
1408万円の減

歳入 主なもの
○繰入金 1800万円の減
ほか

歳出 主なもの
○商工費 827万円の減
○教育費 659万円の減
ほか

26年度補正予算

〜2月会議より〜
一般会計補正 (第6号)
2653万円の増

※豪雪に対する除雪に関わる
補正

歳入 主なもの
○繰入金 2530万円の増
ほか

歳出 主なもの
○土木費 2684万円の増
ほか

〜3月会議より〜
一般会計補正 (第7号)
9904万円の減

歳入 主なもの
○町税 592万円の減
○使用料・手数料 1001万円の減
○国庫支出金 2240万円の減
○県支出金 1813万円の減
○繰入金 2500万円の減
ほか

歳出 主なもの
○民生費 3872万円の減
○商工費 1119万円の減
○土木費 1419万円の減
ほか

一般会計補正 (第8号)
9554万円の増

※「地方創生」に係る前
倒し事業と新規事業に関
する補正

第411回定例会 2月会議・3月第2回会議 議員・議案ごと賛否一覧表

※3月会議の採決一覧表は7ページにて掲載してあります。

○賛成 ●反対 / 病欠・公務出張等により欠席・議決に参加 (議長は議決に参加しない (-))

2月会議賛否一覧表

議案番号	議案の内容(要約)	審議結果	小林幸雄	橋崎一雄	北村照明	湊喜一	青柳秀吉	森山木の実	荒井賢蔵	酒井聡	吉岡輝明	永原和男	佐藤武雄	佐藤仙治	宮川俊雄	石川広之
1	信濃町情報通信条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	信濃町企業誘致推進委員会設置条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	平成26年度信濃町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	信濃町監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

3月第2回会議賛否一覧表

議案番号	議案の内容(要約)	審議結果	小林幸雄	橋崎一雄	北村照明	湊喜一	青柳秀吉	森山木の実	荒井賢蔵	酒井聡	吉岡輝明	永原和男	佐藤武雄	佐藤仙治	宮川俊雄	石川広之
53	平成26年度信濃町一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

子育て支援拡充・「選択と集中」の公共事業 新年度予算を可決

3月会議では予算特別委員会が設置され、総額55億9500万円の27年度一般会計予算を審査、各常任委員会では、特別会計・企業会計の予算案も審査しました。本会議ではすべての予算案を可決しました。

また、会期中には、「地方創生」関連の補正予算案も追加上程され、一部事業が26年度に前倒しされた補正予算案を可決しました。(関連記事は3ページ)

委員会審査 主なもの

総務産業小委員会

総務費

問 固定資産税は減少の見込みですが、要因を伺います。

答 評価替えを実施する年度になりますので、大幅な減少が見込まれます。

問 移住定住促進事業の今後の見通しを伺います。

答 5年後の転入者数の目標を、300人に設定しました。

問 緊急メール配信サービス機器購入(約1000万)の内容は。

答 交付税措置の高い事業債を活用できますので

購入を選択しました。

農林水産業費

農林水産費

問 地震の災害復旧について対応は。

答 また、作付けへの影響を伺います。

問 積雪により26年度に着工できなかった部分は、県の予算をいただいたうえで、繰り越し事業として計画しています。作付けに対しては影響はないと思います。

商工費

商工費

問 信濃町振興局への出損金200万円については、いろいろと問題があるように思いますが。

答 設立時の資産は300万円ほど必要であらうということで、各

団体に対する割り振りが決められたということとです。

土木費

土木費

問 町道諏訪の原古間線の建設事業について、「集中」と「選択」がどう反映されているのか。

答 今までは、100m単位の工事を何ヶ所も行ってききましたが、効果が薄かったので、工期を「集中」して行います。また、優先順位を十分に精査して、場所を「選択」しました。

社会文教小委員会

民生費

問 障害福祉計画を9月までに策定するとありますが。

答 地域福祉計画は26年度中に完成します。

消防費

消防費

問 元気づくり支援金を使った消防団の事業とは。

答 消防団活動を描いた映画を上映し、全町向けと小中学校9年生を対象に上映会を行う予定です。

介護保険特別会計

介護保険特別会計

問 信濃町の介護保険料は県下でも最も安い水準ですが、今回の値上げ改定後はどうなりますか。

答 今回の保険料改定で、760円値上げをして、4300円になりましたが、承知している限り、県下では最も低い保険料になると思われます。

病院事業会計

病院事業会計

問 年間患者数の見込みを伺います。

答 4月から整形外科医が1名着任しますので、外来患者数は予想を上回るものと思います。

教育費

教育費

問 小中学校の講師の配置予定を伺います。

答 全体で1クラス減になりますので、1名減になります。

衛生費

衛生費

問 斎場建設負担金に1億円近く計上されていますが、建設の見通しは。

答 今春から着工予定で、建設期間はおおよそ1年の予定です。

介護保険事業・高齢者福祉・障害福祉の各計画は一冊の冊子にまとめる予定です。

(児童福祉費)

児童福祉費

問 町独自の奨学金に関する問い合わせは、どのくらいありましたか。

答 総計で7件あったと把握しています。

衛生費

衛生費

問 斎場建設負担金に1億円近く計上されていますが、建設の見通しは。

答 今春から着工予定で、建設期間はおおよそ1年の予定です。

総額 55億9500万円 対前年度比3億7800万円(7.2%)増!

反対討論

永原 和男議員

歳入の柱である一般財源は、交付税を26年度比2億3000万円も増額したものです。国は、交付税を削減するとしています。不安を抱えた予算です。横川町長が、公約実現に努力した点は評価しますが、しかし、3歳未満児の保育料は、隣町と比較すると1.5倍も高く、子育て支援にはなっていません。町民の生活を保障するための民生費に、生活を支援する予算が見当たりません。農業・観光・商工業の振興をめざす予算も見当たりません。

信濃町振興局の取り組みは、真剣に行っていたと思います。かつての『(有)野尻湖やすらぎの森』の失敗を繰り返さないように、警鐘を鳴らします。

議員連盟の上部負担金が計上されています。そもそもこのお金は、議員自らが負担すべきお金です。

賛成討論

酒井 聡議員

歳入では、税収の落ち込みが予想される中、財源の確保に対する工夫が、歳出では、人口減少対策と社会資本整備に重点を置いた中長期的施策が確認できました。総額55億9500万円という大型予算は、「選択と集中」の原理・原則のもと、健全な行政運営にあたらんとする姿勢に期待感を持って支持します。

保育料の値下げ、通学定期券補助、奨学金制度の本格的な運用開始などの子育て支援施策の拡充と、雇用促進住宅建設にみられる人口減少対策など、いずれも、町の将来を見据えた「信頼と活力のある」行政運営の決意のほどを大いに評価します。公共交通対策には、より一層の利便性の追求を願ひ、地域医療体制や社会福祉体制などの施策も、中長期的な施策の研究をお願いすることを申し添え、賛成の討論とします。

特別会計予算

委員会審査 主なもの

水道事業会計

問 利益を400万円と見込んでいますが、給水量・給水人口の減少を考えた場合の今後の見通しを伺います。

答 このままの状態であれば、マイナスにはならないと思いますが、老朽化した施設の更新をした場合、料金の値上げで対応する必要があると思います。

下水道事業特別会計

問 下水道接続率はどうなっていますか。

答 2月末時点で、野尻公共が77・3%、柏原公共が50・2%です。

問 接続率を上げるための活動は実施していますか。また、接続率の目標値はどのくらいですか。

答 80%を目標にして、町から接続をお願いしていきます。

平成27年度 特別会計・企業会計

会計名	予算	前年度増減額 (当初予算ベース)
国民健康保険	13億6746万円	1億5261万円
後期高齢者医療	9752万円	△548万円
介護保険事業	8億6999万円	2352万円
古海診療所	482万円	△20万円
水道事業	2280万円	1394万円
下水道事業	3億5821万円	△1億2505万円
農業集落排水事業	2億2402万円	1842万円
特定環境保全公共下水道事業	1303万円	143万円
個別排水処理施設整備事業	1105万円	6万円
企業会計		
水道事業(収益的収入)	1億8496万円	△171万円
町立病院事業(収益的収入)	13億4111万円	△7743万円

条例の制定・改正については、2月会議にて審議された案件は改正案2件、3月会議では制定案2件、改正案13件が審議され、すべて可決しました。請願・陳情は3月会議にて8案件が審議されました。

条例制定

委員会審査

信濃町風致地区内における建築等の規制に関する条例

○県が制定した風致地区における条例をもとに町独自に規制を定めた条例
(賛成討論)

永原和男委員
県からの権限委譲ということなので賛成します。規制の強化や解除は今後議論すべきと考えます。
(賛成討論)

森山の美委員
県条例で不足していた部分を町独自の環境保護で補い、乱開発が避けられる内容になっていることに賛成します。

野尻湖ナウマンゾウ博物館構想策定委員会設置条例

○設立して30年が経過した博物館の、今後のあり方を策定する委員会を新設する条例
(賛成討論)

酒井 聡委員
今後、地方の小さな博物館のあり方を総合的に考えていこうとする意図を読み取り、賛成します。

条例改正

委員会審査主なもの

信濃町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

○消防団員の定員を実績に合わせて400人に引き下げる条例改正

信濃町介護保険条例の一部改正

○介護保険料について、国の規定による引き上げ改定を行う条例改正
(賛成討論)

酒井 聡委員
町は、低い保険料徴収を維持しており、今回の値上げ改定でも県下で最も低い保険料で運営していることとする姿勢に賛成します。

信濃町若者定住促進住宅条例の一部改正

○若者定住住宅に入居されている40歳以下の世帯

請願・陳情

集団的自衛権容認の閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見書を提出すること

〈請願者〉

長野県平和委員会
代表 永井 光明
ほか4名
紹介議員 荒井 賢蔵
(賛成少数で不採択)

主に對して、家賃の一部を補助する条例改正
(賛成討論)

森山の美委員

仕事場はあるが若者の住む場所がないということをよく聞きます。新しい住宅が増え、定住者が増えるきっかけにしたい。ただきたく賛成します。



上島住宅

TPP交渉に関する請願

〈請願者〉

長野県農民連
信州北部農民組合
組合長 彦坂 宗雄
紹介議員 荒井 賢蔵
(賛成多数で採択)

組合長 彦坂 宗雄
紹介議員 荒井 賢蔵
(賛成少数で不採択)

米価対策の意見書を求める請願

〈請願者〉

長野県農民連
信州北部農民組合
組合長 彦坂 宗雄
紹介議員 荒井 賢蔵
(賛成少数で不採択)

耐震診断・耐震改修に関する陳情書

〈陳情者〉

長野県建築士事務所協会
会長 池田 修平
長野支部
支部長 佐藤 修明
(全員賛成で採択)

最低制限価格の設定に関する陳情書

〈陳情者〉

長野県建築士事務所協会
会長 池田 修平
長野支部
支部長 佐藤 修明
(賛成多数で採択)

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

〈陳情者〉

長野地区労働組合総連合
議長 大矢 美奈子
(賛成多数で採択)

議員発議

信濃町議会委員会条例の一部を改正する条例について

(全員賛成で可決)

TPP交渉に関する意見書

(賛成多数で可決)

地域からの経済好循環の実現に向け、最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書
(賛成多数で可決)

第411回定例会 3月会議 議員・議案ごと賛否一覧表

○賛成 ●反対 / 病気・公務出張等により欠席・議決に参加しない(議長は議決に参加しない(-))

議案番号	議案の内容(要約)	審議結果	石川	宮川	佐藤	佐藤	永原	吉岡	荒井	森山	青柳	湊	北村	橋崎	小林
5	平成27年度信濃町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	信濃町職員定数条例の一部を改正する条例について	撤回													
32	平成26年度信濃町一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	平成26年度信濃町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	平成26年度信濃町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	平成26年度信濃町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	平成26年度信濃町立病院事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	平成26年度信濃町立古海診療所特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	平成26年度信濃町水道事業会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	平成26年度信濃町水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	平成26年度信濃町下水道事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	平成26年度信濃町農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	平成26年度信濃町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	平成26年度信濃町個別排水処理施設整備事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	行政財産の使用料及び普通財産の貸付料の減免について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願1号	集団的自衛権容認の閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める請願	不採択	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願2号	TPP交渉に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願3号	農協改革など、「農業改革」に関する請願	不採択	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願4号	米価対策の意見書を求める請願	不採択	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情3号	最低制限価格の設定に関する陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情4号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議2号	TPP交渉に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議3号	地域からの経済好循環の実現に向け、最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※3月会議において

全会一致で可決された議案

(議案番号) (議案内容)

- 27号 信濃町国民健康保険特別会計予算
- 7号 信濃町後期高齢者医療特別会計予算
- 8号 信濃町介護保険事業特別会計予算
- 9号 信濃町立病院事業会計予算
- 10号 信濃町立古海診療所特別会計予算
- 11号 信濃町水道事業特別会計予算
- 12号 信濃町水道事業特別会計予算
- 13号 信濃町下水道事業特別会計予算
- 14号 信濃町農業集落排水事業特別会計予算
- 15号 信濃町特定環境保全公共下水道事業特別会計予算
- 16号 信濃町個別排水処理施設整備事業特別会計予算
- 17号 信濃町行政手続条例の一部を改正する条例について
- 19号 特別職の職員等の旅費又は費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 20号 特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 21号 信濃町税条例の一部を改正する条例について
- 22号 信濃町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について
- 23号 信濃町福祉医療費給付金支給条例の一部を改正する条例について
- 24号 信濃町介護保険条例の一部を改正する条例について
- 25号 信濃町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 26号 信濃町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防
- 27号 信濃町教育委員会教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について
- 28号 信濃町若者定住促進住宅条例の一部を改正する条例について
- 29号 信濃町風致地区内における建築等の規制に関する条例の制定について
- 30号 信濃町特定環境保全公共下水道事業特別会計予算
- 31号 野尻湖ナウマンゾウ博物館構想策定委員会設置条例の制定について
- 32号 信濃町職員定数条例の一部を改正する条例について
- 33号 平成27年度信濃町一般会計補正予算(第1号)
- 34号 平成26年度信濃町一般会計
- 35号 平成26年度信濃町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
- 36号 平成26年度信濃町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- 37号 特別会計補正予算(第3号)
- 38号 信濃町教育委員会の教育長の任命につき同意を求めることについて
- 39号 信濃町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて
- 40号 耐震診断・耐震改修に関する陳情書
- 41号 国土交通省告示第15号の履行に関する陳情書
- 42号 信濃町議会委員会条例の一部を改正する条例について

陳情・発議

耐震診断・耐震改修に関する陳情書
国土交通省告示第15号の履行に関する陳情書
信濃町議会委員会条例の一部を改正する条例について

一般質問

旧古間支館利用の提言を どう活かしますか 町長「極めて重い課題と 受け止めます」



森山 木の実 議員

質問 耐震強度が低いというところで、不特定多数の出入りが禁止されている木造の旧古間支館ですが、その利用検討委員会が25年に「建物は文化財として保存することを望む」「この建物が町民観光客などに利用され、

有効に活用されることを望む」という提言をいただきました。この提言はどう活かされますか。
町長 財源も必要で、すぐには取り組めず、極めて重い課題と受け止めざるを得ません。
質問 提言が出ているのにはほったらかしでは。
教育長 教育委員会の中では、文化財として残せるものなら残していきたいという議論がされていますので、使い途が決まるまでは雪下ろしなどやりたいと思います。

考えていませんか。教育長 大々的な改装をして保存を長くするようなことは考えていません。
木造の校舎の運命は
質問 校舎の運命がどうなるのか、町の方々の関心は大きいと思えますが。
町長 いずれにしても、なんらかの形で動き出さなければいけないのかと考えています。
※ほかに、住民同意について質問しました。



ひっそりとたたずむ旧古間支館

空き家対策の計画は 総務課長 「対策計画を 定めていきます」



酒井 聡 議員

質問 空き家情報の更新がなされていますが、現状の登録件数は。
総務課長 ホームページの更新が遅れておりますが、賃貸可能な登録件数は69件あります。

質問 賃貸契約等の仕組みについて、見直しの必要を感じますが。
総務課長 確かに、このことは登録が進まない一つの要因だと思います。法律上の問題で現行の仕組みになっていきますので、今後考えていきます。
質問 「空き家対策特措法」制定を受けて、町としての条例制定の考えは。
町長 今のところは考え



こうなる前の空き家対策

また今後、国の指針が示されてきますが、それに合わせた対策計画を定めていきます。
人口流出と集落の維持について
質問 現状の人口流出現象に対して、町長はどのように捉えていますか。
町長 実は、県内では数少ない転入超過の状態ですが、20代の転出が多い。信濃町での子育ての利点などをPRして人口減少対策に取り組みたい。

質問 長野市が「連携中枢都市」を目指すことと表明しましたが、信濃町としての対応と方針は。
町長 担当市町村の事務検討会を始めて、準備段階にあたってるところです。
質問 若者会議(仮)に総務省の「集落支援員」の制度を絡めてみては。
町長 うまく組み入れられるのであれば、検討したいと思えます。

一般質問

国保広域化されても 9割給付制度は 存続を

町長「国保制度というより 福祉制度です」



荒井 賢蔵 議員

質問 国保は国民皆保険制度の大切な保険です。今の市町村単位を広域化することを政府は閣議決定しましたが広域化によりさまざまな弊害が予想されます。しかし、国保世帯主の9割給付制度は存続することを明言してほしいのですが。

町長 世帯主の給付制度は国保制度というより福祉制度です。これは信濃町独自制度として長い間、時々長もやってきましたので、その制度は維持します。

子育て支援

質問 同時通園でなくても第2子は半額、第3子は全額の免除として欲しいのですが。
教育次長 経費が大きいので減額の軽減をしていきます。

質問 出産祝い金を、

30万円ぐらい出すことで一人でも多く子供を産み育ててほしいと思います。そのことで人口減少を食い止め、若い皆さんが町外へ出て行かないよ



町が出資したおらが庵

雪に対する危機意識は 町長「町民の安全に 十分配慮をします」



佐藤 武雄 議員

質問 今期の豪雪での生活や、例年に増して建物に、被害が出ていることに対しての危機意識は。
町長 町民の皆さんの安全に十分配慮をします。
総務課長 公共施設等に被害が発生しました。今後起こらないよう管理をしていきます。

質問 住宅除雪支援員の派遣の目安と基準は。
住民福祉課長 現在56世帯が対象になっています。

質問 防災ハザードマップの進捗状況は。
総務課長 県より平成25年3月急傾斜地の崩落と土石流について告示され、今年1月29日地滑りについて告示を受けました。作成を27年度予算に計上し、

別に軽度生活支援事業で、55世帯にシルバーさんを派遣しています。除雪員の派遣は県の特別豪雪地帯住宅除雪支援事業の交付要綱に則り、対象の方々にを行っています。

質問 各地域にAEDの配備11箇所、町内9箇所のヘリポートが指定されています。増設の考えは。
総務課長 27年度にAED2箇所増設します。
ヘリポートについては、多くの場所に配置をしたいので、地域防災計画の見直しを進めています。

質問 防災ハザードマップの進捗状況は。
総務課長 県より平成25年3月急傾斜地の崩落と土石流について告示され、今年1月29日地滑りについて告示を受けました。作成を27年度予算に計上し、



豪雪への危機管理は?

一般質問

信濃町のPRはどのように

町長「自然、教育環境などを 全国に発信したい」



北村 照明 議員

質問 当町に移住するにつけても町を知ってもらうことが大事です。どのようにPRしますか。
町長 自然、教育環境はご承知のとおりですが、個人としては、自然も本物、雪も野尻湖も一茶もナウマンゾウも、全ての

農産物も本物、まさに本物の良いところだらけの町だと思っています。その基盤の上でしっかりと情報発信していくことが、大事ではないかと思っています。
質問 県が開いた銀座NAGANOの利用についてお聞きします。
産業観光課長 昨年11月と今年1月に、9市町村広域連携でメディアへのPR活動を行いました。12月17日から23日に広域で、善光寺御開帳百日前イベント、12月18日には飯綱町と共催で「北信濃の食と浪漫」というイベントを、メディアを対象に行いました。昼、午後、夜の3部で



町のキャラクター 一茶さん

行い、このフロアが1回で25名、3回で74名に参加していただき、3回とも満席で、ある程度PRできたのではないかと思っています。
質問 トウモロコシの時期に、イベント等を行う考えはありますか。
総務課長 状況を見ながら検討し、予算要求等させていたきたいと思えます。
質問 公用車等へ町のキャラクター一茶さんのラッピング塗装をしたらどうですか。
総務課長 例えばマグネットシールのようなものもあると思いますので検討させていただきます。

次期通信システムは

総務課長「28年11月頃までに工事を終了」



石川 広之 議員

質問 現在43%の加入率ですが、行政連絡の面で加入していない人に不公平ではありませんか。
町長 元々は皆が入れるもの。個々の事情で加入をやめたわけで、不利益の判断には至りません。
質問 次期通信システム

は、町としても急ぐべきではありませんか。
総務課長 28年11月頃には実際の工事を終了しなければなりません。
公社立ち上げの時期は
質問 町長の農業振興公社構想はどのようなものですか。
町長 究極の構想としては、希望を持って農業に従事でき、荒廃地が増えず自然景観も維持できる状況です。



今のオフトーク設備

町振興局の現状は。
質問 振興局の組織は。
副町長 理事長に商工会代表者、副理事長は観光協会と旅館組合それぞれの代表者です。私も町側の理事として選出されています。
質問 振興局の会費は。
副町長 27年度予算では出捐金として町が200万、商工会と観光協会が50万ずつ、旅館組

合が10万の予定です。これからそれぞれの総会にて決定します。一般募集も考えていて、今の段階では年額2万円の会費と決めています。
質問 町民からの出資金は単年度決算ですか。
副町長 単年度の精算ではなく、後年も続く形態を考えます。今後、自主財源的の確保等も考えなければならぬということも踏まえて、経営面でも自立する形をとっていきたいと思います。

一般質問

定住促進係の数値目標は

町長「平成31年度に 移住者300人と設定」



吉岡 輝明 議員

質問 定住促進係が目標とする移住定住者の数は。
町長 長期振興計画では平成31年度に300人と設定してありますが、現状は厳しく、そういう中で移住定住の目標を設定しているところです。

質問 県の合計特殊出生率は1.54ですが、町の目標はありますか。
町長 今はありません。
質問 定住促進係の新規並びに充実させる事業は。
町長 ①地域住民との連携強化②HPの情報発信を移住定住に特化③移住交流施設の整備④NPO法人等からの協力体制、この4点を考えています。

空き家への対策は

質問 全国で約13%の空き家があり対策が必要とされるが、町は住民に被害を及ぼす恐れのある管理されていない空き家の軒数を把握していますか。
町長 今までは、やったことがありません。

ナウマンゾウ名称の 全国展開を

質問 水戸口公園や象の小径に、全国に知れ渡ったナウマンゾウの名称をつけることは可



今季の大雪で倒壊した野尻湖別荘キャビン

能ですか。
町長 野尻湖エリアであれば町民の理解も得られると思います。

東京オリンピック 事前合宿誘致の 考えは

質問 2020年東京オリンピック事前合宿地として信濃町が選ばれれば町民一体の活動となり、盛り上がると思いますか、町の考えはいかがですか。
町長 早めに協議を進め、可能な分野があるか、関係団体の皆様と調整を始めていると聞いています。

町長が目指す町政運営とは

町長「町民・職員・議会などとの 信頼関係です」



佐藤 仙治 議員

質問 町長が町職員に期待するものは何ですか。
町長 職員は行政の実行部隊として町民の色々な情報等アンテナを高くしつつ、かつ企画力を高め、町づくりを助けていただきたいと思います。

質問 町職員は常に町民視点で、心の通った対応が重要と考えますが。
町長 そのとおりだと思います。
質問 農山村生活体験受け入れ（農家民泊）事業は年々増加傾向となっておりますが見解は。
町長 ①信濃町を知っていただく非常に良い機会であり②リピーターの面を考えると、大変良い事業であると思っております。

合わせて、実行委員会ははじめ受け入れ農家の皆さん方も、事業の趣旨を理解し発展できるということに對しても心から敬意を申し上げます。
質問 次期行革大綱の職員定数計画の責任者は。
町長 今までの行政改革の職員定数計画



初めてのキュウもぎ

一般質問

病院のアンケートの費用は 町長「200万5000円と 承知しています」



青柳 秀吉 議員

質問 信越病院あり方検討委員会のアンケートにかけたコンサルタント料はいくらですか。
町長 コンサルタントに支払った経費は、200万5000円と承知しています。
質問 町民への質問内容

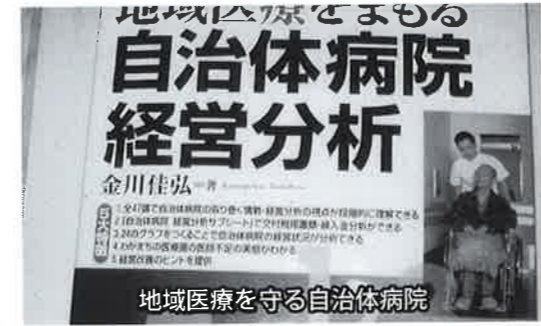
の分析を業者に任せたとかがいいのだろうか。自前でやるのが普通では。病院事務局長 委員の中には、病院経営などに精通している方だけでなく素人の方もいるので、その辺などでコンサルタントに頼んだいきさつもあり、アンケートの内容は、基本的に委員会のメンバーで吟味して作っています。

医師招聘にかかる コンサルタント料は

質問 医師、看護師招聘にかかるコンサルタントへの報酬はいくらですか。
病院事務局長 看護師は年収の15%から20%、医師については、年収の20から25%です。自治体病院協議会を通じて招聘した場合は一律50万円です。

出張費の宿泊料は 実費精算が常識では

質問 現在は、一泊二日の県外出張で、日当2日分4000円、宿泊料1万3000円、計1万7000円の定額支給ですが、実費精算が世間の常識だと思います。410回定例会で当時の会計管理者(現副町長)が同僚議員の質問に対して「貴重な町民の税金をあてさせていたでいる」という意味では、透明性、公平性など考えれば、実費が妥当と個人的には考えます」と答えています。今でもその考えは変わりませんか。
副町長 実費支給の市町村もありますので、今後、調整は必要だと考えます。



地域医療を守る自治体病院

地方創生のための 人口増加対策は

教育長「新年度予算で 盛り込んだ」



湊 喜一 議員

質問 人口減少で社会基盤の維持が困難になってくる、そのために地方創生のための総合戦略が求められています。戦略策定の人材確保は。
町長 大変重要な戦略であります。行政、教育、金融、労働団体、町内企業、議会等からと考えています。

に3万円の支援金を計上しました。

コンビニ健診で 受診率アップ

質問 特定健診受診率アップに向けて、コンビニ健診、大型店駐車場での検診を行う予定はありますか。
町長 コンビニ二活用は信濃町にはなじまないように思います。

質問 結婚・出産・子育て・教育に対する取り組みはどうなっていますか。
町長 出合いの場の創設、新年度予算で保育料の値下げ、教材費、通学定期代の補助金、出産時



受診率アップを願う特定健診

町長 公民館での健康相談を進めています。
質問 特定健診は年々微増しているが、受診率アップの事業はありますか。
町長 昨年より春・秋に分けて検診日を設定、受けられなかった方には勧奨を行っています。

一般質問

介護報酬の大幅削減 事業者への支援策を提案します

町長「慎重に検討します」



永原 和男 議員

質問 今回の介護報酬の削減率は。
町長 2・27%。施設型が、特に影響のある削減と認識しています。
質問 加算を全部取れば2・27%です。しかし、



ピカピカの一年生

加算を取れない事業者は、4・48%の大幅削減です。
介護保険事業者を支援するために、利用者さんの送迎用車両購入補助と軽自動車税の減免を提案します。
町長 慎重に検討します。

公約実現を 新年度予算に 組み入れましたか

質問 新年度の予算に公約実現されましたか。
町長 集落の活力を見出す活動に10万円の支援を行います。
質問 保育料の軽減策は。年少扶養控除の扱

いは。
教育次長 年少扶養控除を反映させた保育料としています。
(町長は施政方針演説で、乳幼児のミルクとおむつ代として一人当たり3万円の補助。義務教育教材費の保護者負担の軽減として、一人当たり1万円の支援。住宅リフォーム事業の継続を表明しました。)
町と振興局の
かかわりは
質問 信濃町振興局設立の経過と目的をどう認識していますか。
町長 オール信濃町で力を結集してがんばろうという主旨で設立されたことを認識しています。
質問 副町長は、振興局の理事です。理事としての決意と意気込みは。
副町長 しのの鉄道の開業に当たり、駅業務を受託しています。駅周辺の活性化、観光の促進、PRなどに理事として務めます。

北信保健衛生施設組合 新斎場いよいよ起工式

現在川谷地籍にある斎場の老朽化にともない、建設が計画されている新斎場ですが、4月30日に起工式が行われました。

斎場建設については、最初は現在斎場がある川谷地区付近に予定されていたものの、土砂災害特別警戒区域にかかるため、新たに土地の確保が必要となりました。
新しい場所は、中野市豊津字大澤地籍です。

長野広域連合 ごみ焼却施設建設の現状は

長野広域連合の主要事業であるごみ焼却施設建設の進捗状況ですが、長野市大豆島に計画されているA焼却施設の事業者選定については、着々と手続きが進められており、7月には工事請負契約の議決が行われる予定です。また、千曲市に計画するB焼却施設、須坂市に計画する最終処分場については施設受け入れの可否について、地元の方々に真摯に検討していただいているとのこと。引き続き、千曲市、須坂市ともに早期に同意が得られるよう努めるとのこと。

最終処分場については、埋立容量や埋立期間に限りがあることから、早い段階から候補地の選定を進めていく必要があるということです。関係する市町村において協議してきた結果、これまでの候補地選定の経過を踏まえ、次期最終処分場建設候補地は、信濃町、飯綱町、小川村及び合併前の旧長野市を除いた長野市の地域の中から選定する方向で、今後詳細に検討していくと内容報告がありました。

Google マップより



新斎場の位置

(一般質問の記事と写真は、質問者本人が作成します。)

委員会構成(つづき)

議会運営委員会

委員長	北村 照明
副委員長	湊 喜一
委員	橋崎 一雄
委員	青柳 秀吉
委員	永原 和男
委員	酒井 聡

広報調査特別委員会

委員長	荒井 賢蔵
副委員長	森山木の実
委員	佐藤 仙治
委員	石川 広之
委員	宮川 俊雄
委員	酒井 聡

特別委員会

※ 後期委員会構成の改変とともに、次期情報通信サービスに関する調査と、町立病院の医療体制の調査を行う目的で、以下の2つの特別委員会を設置しました。

信濃町新情報通信事業調査特別委員会

委員長	佐藤 仙治
副委員長	湊 喜一
委員	北村 照明
委員	橋崎 一雄
委員	吉岡 輝明
委員	石川 広之

第4期信濃町医療体制確立等調査特別委員会

委員長	森山木の実
副委員長	永原 和男
委員	青柳 秀吉
委員	佐藤 武雄
委員	宮川 俊雄
委員	酒井 聡

一部事務組合

○北部衛生施設組合議会
議員 小林 幸雄
議員 荒井 賢蔵
議員 橋崎 一雄
議員 青柳 秀吉
議員 酒井 聡

北信保健衛生施設組合議会

議員 小林 幸雄
議員 青柳 秀吉

長野広域連合議会

議員 小林 幸雄
議員 青柳 秀吉

議員会

会長	吉岡 輝明
副会長	永原 和男
幹事	佐藤 仙治
幹事	森山木の実
幹事	宮川 俊雄
幹事	酒井 聡
監事	湊 喜一

新しい編集委員会です

「議会だより」の新しい編集委員会が始動しました。委員長をはじめ新メンバーも加わり、さらに内容に磨きかけた「議会だより」の編集を行っていきたいと思いますので、今後ともご愛読をお願いします。



荒井 賢蔵委員長
編集委員長になりました。

「ありのまま」「住民とともに」「わかりやすく」編集したいと思えます。

佐藤 仙治委員

「ありのまま」「住民とともに」「わかりやすく」編集したいと思えます。

宮川 俊雄委員

引き続き、編集委員を担当します。読みやすい広報を作っていきます。

酒井 聡委員

森山木の実副委員長
編集委員7年めです。

正確でわかりやすい記事を心がけていきます。

石川 広之委員

所管事務調査

総務産業常任委員会

「信濃町振興局について調査」

3月14日、しなの鉄道北しなの線が開業しました。古間と黒姫の駅業務は、まずしなの鉄道(株)から信濃町に業務が委託されましたが、町は直営ではなく信濃町振興局に再委託し、現在、業務が開始されています。

開業前の2月3日、当委員会は、振興局の駅業務を含む経営形態について調査をしました。



3月14日 振興局の初仕事

鉄道運行管理はしなの鉄道(株)ですが、切符販売や駅中の管理などの駅業務は信濃町振興局が行います。

信濃町振興局に対しては、出捐金(入会金)として町が200万円、観光協会と商工会がそれぞれ50万円ずつ、旅館組合が10万円負担するという説明がありました。

「土木費予算の現地審査」

総務産業常任委員会では、土木費予算審査にあたり、道路改良の現地審査を行いました。

北川遊魚付近の町道を幅員6mに拡幅。長さは180mです。

旧古間支館付近から(南)まきのや商店付近までの町道舗装。長さは1120mです。

総合会館から南側十字路の町道に歩道を設置するための測量設計。



道路改良の現場

他、六月深雪組入り口の橋は詳細設計の予定。

町道にかかる橋128箇所のうち12箇所が予定されています。

編集後記

多かつた今年の雪も消え、ここ信濃町も農繁期の季節が来ました。4月より編集委員が代わりました。皆さんに少しでも多く議会のことをご理解いただくために編集委員一同頑張ります。(賢)

ぎかい活動365日

(1月から3月までの主なもの)

「伝えた」から「伝わった」へ
議会が見える編集

1月30日、町村議会の議会広報研修会に当議会の広報編集委員が参加し、議会広報の基本と編集技術を学びました。



伝わることが大事

「伝えた」から、「伝わった」議会だよりにするためには正確・簡潔でわかりやすい記事を目指すことが大切です。

普段から、いかに皆さんの目をひく紙面が作れるか、普段からレイアウトや見出しなどを工夫しています。議会が見える編集を心がけて、これからもがんばります。

議員必携の勉強会②

予算修正の考え方

2月20日、地域交流施設にて、議会議員会主催で議員必携の第2回勉強会を開催しました。

今回は予算の審議のうち、特に「予算の修正」をテーマに勉強しました。講師は、長野県町村議会議長会の宮寄康史氏です。

予算の減額・増額の考え方、予算を伴う条例案と予算との関連、修正案提出の時期などを、他町



予算について質疑応答

村議会・県議会の例を挙げながらわかりやすく教えていただきました。※議会議員会とは、議員相互の親睦と融和を図り、研修を行う会です。

こんにちは

でほん わたしの出番です

今回は、3月の議会を傍聴された佐藤賢司さんと、古間に「アート黒姫」をオープンされた、名香山（中山）直子さんの登場です。



議会傍聴をして

菅川 佐藤 賢司さん

近所のみなさんご一緒に、3月の議会を傍聴しました。

議場では、議員が町民の声をもとに、町長に質問や提案を行い、活発に議論して、緊張の高まりを感じました。

町長はじめ各課長は、議員の質問に、丁寧かつ

具体的に答弁されていて、大変努力されていると感心しました。議会は、私たちが安心して生活が出来るように、真剣に議論し予算などを決定する重要な機会です。

町長提出議案や、請願や陳情なども、しっかりと審査、議論してほしいとお願ひします。

私は、議会の一歩の役目は、町政をしつかりチェックすることだと思ひ、その機能を充分に果たされることを期待します。

町議会が、権威ある議会として、安全で安心して住める町づくりを進めていただきたことをお願ひし、雑感とします。



名香山直子さん

アートを身近に

古間 名香山直子さん

て、オーダー額縁とギャラリーの店「アート黒姫」をオープンしました。

自然豊かな信濃町で活躍するアーティストさんを紹介し、地域のみなさんにアートをもっと身近に感じ、楽しんでいただきたと思ひます。

絵画に限らず立体的な作品や大切な思い出のこ

もった品々も、額装すると素敵なインテリアになります。どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。



*赤いポストが目印です

<http://www.art-kurohime.com>

一茶と俳句

花の陰あかの他人はなかりけり 八番日記

文政二（一八一九）年 五十七歳

「花の陰」とは、桜の花見の風景を詠んでいます。一茶はこの世の中で、あかの他人はいないと言っています。

日常の生活の中、他人事でなく相互扶助の世の中、万物も全て生活に関わっている。そんな暮らしが望ましいものです。

一茶の「花の陰」の句として二句紹介します。

花の陰雑隙だれのみまくれしうす草履せうりゆう

花の陰我われのみまは狐きつねに化かかされし

この年六月、長女さとが抱瘡ほうそうで死ぬ。一茶も七月に「オコリ」（熱病）の発作あり。

竹内恒男 抄出



平成5年建立 穂波 高原ドライブイン

花の陰あかの他人はなかりけり